

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2018年10月30日
PRESS-18-29

「日本小児内分泌学会未来開拓研究助成」・「日本小児内分泌学会藤枝賞」 2018年度受賞者決定のお知らせ

—小児内分泌分野の先駆的研究の推進と研究活動の成果を社会へ還元—

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社(代表取締役社長:オーレ ムルスコウ ベック、本社:東京都千代田区)は、当社が後援する「日本小児内分泌学会未来開拓研究助成」・「日本小児内分泌学会藤枝賞」について、2018年度の受賞者がこのほど決定されたことをお知らせします。

本賞は、日本小児内分泌学会が長年行っている小児期の成長・発達・成熟に関する基礎的・臨床的研究事業の一環として創設されました。ノボ ノルディスク ファーマは、その趣旨に賛同し、同事業を支援しています。2018年度の受賞者は、10月5日に東京で開催された第52回日本小児内分泌学会総会において発表され、授賞式が行われました。

「日本小児内分泌学会未来開拓研究助成」2018年度受賞者一覧(7名、50音順、敬称略)

梅木 郁美	東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野
田久保 憲行	順天堂大学医学部小児科学講座
田中 達之	名古屋市立大学病院新生児・小児医学分野
中島 久和	京都府立医科大学附属北部医療センター
鳴海 覚志	国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部基礎内分泌研究室
矢ヶ崎 英晃	山梨大学医学部小児科
矢本 香織	浜松医科大学小児科

「日本小児内分泌学会藤枝賞」2018年度受賞者(敬称略)

田島 敏広	自治医科大学とちぎ子ども医療センター
-------	--------------------

日本小児内分泌学会未来開拓研究助成について

日本小児内分泌学会は、小児期の成長・発達・成熟を含む小児内分泌学に関する多種多様な疾患の診断・治療ガイドラインの整備を進めるとともに、近年の分子生物学的解析手法をいち早く取り入れ、これらの発症機序に関する先駆的な成果を世界に発信しています。「日本小児内分泌学会未来開拓研究助成」は、今後さらにこれらの研究を推進し、医学的知識・技術の進歩を図りつつ、研究活動の成果を社会に還元していくことを目的として2015年に創設されました。

詳細は、以下の日本小児内分泌学会研究助成のページをご覧ください。

<http://jspe.umin.jp/kakusho/josei.html>

日本小児内分泌学会藤枝賞について

日本小児内分泌学会藤枝賞の受賞対象者は、国際的活動、教育及び指導、基礎または臨床研究の項目のうち、1 つ以上の項目において数年以上にわたり多大な貢献をした方です。ノボ ノルディスク ファーマは、本賞の趣旨に賛同し、同事業を支援しています。

詳細は、以下の日本小児内分泌学会 学会各賞のページをご覧ください。

<http://jspe.umin.jp/kakusho/index.html>

ノボ ノルディスクについて

ノボ ノルディスク社は、デンマークに本社を置き、95 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも活かされています。ノボ ノルディスク社は現在 79 カ国に約 4 万 3,100 人の社員を擁し、製品は 170 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立されました。